

自然教育園見ごろ情報

2026年8月27日号

附属自然教育園

検索

詳しくはHPの「見ごろ情報」
をご覧ください
<https://www.ins.kahaku.go.jp/>



今週はここに注目！

ツルボが
咲きました！



水生植物園で
見られます

シロバナサクラタデ

比較的肥沃な湿地に生えるタデの仲間、白い小さな花をたくさんつけます。地下で茎を横にのばして増えます。



水生植物園で
見られます

コバナカモメヅル

つる植物で、星型の暗紫色の小さな花をたくさんつけます。園内では、白花品種のアズマカモメヅルも時々見られます。



アズマカモメヅル



センニンソウ

実につく毛を仙人のひげに見立てたことが名前の由来。花は暗い夜に見ても花に気づくほど「純白」です。



実 (11月)



ゴンズイ(実)

赤く熟した果実が割れ、光沢のある黒いタネが顔を出しています。この目立つ色合いで鳥を誘い、タネを運んでもらいます。



ツルボ

土手や草地などに普通に見られます。別名はサンダイガサ（参内傘）で、花の穂が公家が宮中に参内するときに、従者がさしかけた傘をたたんだ形と似ることが名前の由来とされます。



ナンバンギセル

南蛮煙管（なんばんぎせる）の名前は、長い柄の先につく花の形が、西洋の喫煙パイプ（南蛮煙管）に似ていることによります。寄生植物で、ススキ、ミヨウガ等によく寄生します。



全域で
見られます

イチモンジセセリ

日本に生息しているセセリチョウの中で最も一般的に見られる種類で、後翅にある4つの斑紋が直線的に並ぶことから「一文字(イチモンジ)」と名付けられました。



全域で
見られます

ヌスビトハギ

実の形を、しのび足で歩く盗人の足の形に見立てたことからこの名がつけられたという説があります。



花と実

天然記念物及び史跡

科博 自然教育園